

令和6年度 第3回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時 令和7年2月6日（木）18時～ 於：大会議室

学校運営協議会委員（順不同 敬称略）

平田 眞二	（大阪大谷大学 入試・広報課 参事）
味岡 知行	（味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士）
奥野 浩史	（株式会社 奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士）
丸井 理恵	（堺市立旭中学校 校長）
山本 達也	（浪速区民センター 副館長 人権擁護士）
村山 美雅子	（保護者代表）

1 准校長挨拶（松井 准校長）

2 令和6年度学校評価（案）について（審議事項）（松井准校長）

今年度の各項目についての取組みを報告。全体的にしっかりと取り組めた。遅刻者数については、昨年度よりも在籍者数が増えているにも関わらず、減少傾向にある。昨年12月にアンケート形式で実施した学校教育自己診断においても、生徒、保護者、教員から高い評価を受けており、数値にも表れている。

3 令和7年度学校経営計画（案）について（審議事項）（松井准校長）

今年度受けた、高い評価を基に来年度の学校経営計画を作成。来年度も今までの形を踏襲し、さらにより良い学校になるように取り組んでいきたい。

「めざす学校像」については、これまでと同様に、引き続き「ものづくり」や「働きながら学ぶ姿勢」を大切に、生徒の自己実現や進路実現に向けて取り組んでいきたい。「災害ボランティア活動」については、これまで続けてきた被災地支援をベースにさらに広義な取組みを行い、生徒自身の自己有用感を高めるために「ボランティア活動」に名称を改めた。

併せて、個々に応じた個別最適な教育活動も行っていきたい。さらに、地域ともしっかり連携し、地域の助けも受けながら、生徒の学校生活を充実させていきたい。

また、今年度から再開した准校長ブログについて、来年度も継続して実施することで、学校の情報をいち早くかつ積極的に発信していきたい。

「中期的目標」については、昨年度の学校評価をベースにこれまでの良い流れを引き継いで、数値目標をしっかりと達成できるように取り組んでいきたい。

⇒ 令和6年度学校評価（案）及び令和7年度学校経営計画（案）について、承認。

2 本校の活動状況について

① 教務部（古川 教諭）

○令和6年度の在籍状況について報告。

入学当初の在籍者数：106名 → 令和7年2月1日現在の在籍者数：102名（4名退学）

1年生 31名（うち女子3名） 2年生 44名（うち女子3名）

3年生 25名（うち女子3名） 4年生 2名（うち女子0名） 合計 102名（うち女子9名）

○年々、退学者数が減少しており、在籍者数が増加している。

○在籍生徒は学校への定着率が高く、出席率も高い。多くの生徒が卒業予定。

○令和7年度の入試（一般入試、二次入試、編転入試等）について説明。

② 生活指導部（上坂 教頭）

○全体として、学校生活を楽しみながら、落ち着いた様子で学校生活に取り組んでいる。

○給食の喫食状況等について報告。

1月27日現在で、生徒44名、教員17名が喫食。喫食率は約43.1%。様々な生活背景を抱えた生徒が多く通う本校では、栄養管理された給食は非常に重要であると考えている。給食を継続させるためにも、給食指導をしっかりと行っていきたい。来年度も給食費無償化が継続予定。

○生活指導部による行事について報告。

7月19日に交通安全講習を実施。10月6日にSNS講習を実施。（いずれも第2回までに報告済み）

12月12日に防災訓練及び防災体験を実施。停電時を想定した避難訓練を行った。併せて、堺市消防局と協力し、「防災〇×クイズ」、「消火器体験」、「防災バッグや避難所での生活スペースの確認」を行った。いずれも生徒、教職員の防災意識を高める良い機会になった。

2月中に薬物乱用防止講習を実施予定。

○自動二輪（原付含む）、自動四輪の通学について説明。

③ 進路指導部（上坂 教頭）

○生徒の就職状況について報告。学校斡旋就職において、全員内定をいただき、就職率100%を維持できている。併せて、今年度は全員第一希望の就職先に内定をいただくことができた。

④ 生徒会活動部（上坂 教頭）

○生徒会活動部による行事について報告。

12月23日に球技大会を実施。種目はドッジボールで、すべての生徒が熱心に取り組んでいた。

1月20日に後期生徒総会及び生徒会役員選挙を実施。今年度の生徒会の活動報告及び生徒会会計を報告。併せて、令和7年度の生徒会役員選挙を行い、4名の生徒を選出した。

○地域清掃活動について説明。

生徒会が中心となって、不定期ではあるが、学校近隣の地域清掃に取り組んでいる。

○今年度のクラブ活動について報告。

⑤ 支援教育委員会（古池 首席）

○生徒支援サポート体制について説明。

SC、SSW、居場所事業、教育相談生、学習支援員、支援スタッフ等を中心に、しっかりとしたサポート体制を確立できている。

○教職員向けに同和教育研修、事例報告会を実施。

生徒向けに人権HR、いのちの授業、「めぐみ」の視聴等を実施。

○いじめアンケートを年3回実施。

○中学校との合同懇談会について説明。年々参加される中学校が増えてきている。

○地域の団体ともしっかりと連携していきたい。

【委員の方からのご意見】

○本校の取組みを聞かせていただく度に、本当に生徒を安心して通わせることができる学校だと感じている。本校では、他校では体験や経験できない多くのことに取り組んでおられるので、次年度以降もその取組みを続けていただき、さらに発展させていってほしい。併せて、給食の取組みについても、次年度以降も恒久的に継続していってほしいと感じている。

○本校の取組みは堺市内にとどまらず、大阪市内や他の市町村にも大きく轟いている。堺市内だけでなく、他の市町村の中学生にも自信を持って紹介できる学校になってきていると思う。現状に満足せず、さらに取組みを発展させていただき、大阪府一、ひいては全国一の学校になっていただきたい。

○退学者数減、入学者数増、在校生徒や保護者の満足度が高いことは本当に素晴らしいことだと思うし、先生方の取組みが表れている証拠だと思う。併せて、頻繁に准校長ブログを更新していることも大きなシナジーを生んでいると思う。こういった取組みを今後も続けていただき、さらに素晴らしい学校になっていってほしい。

以上